

エコ・ファーストの約束（更新書）

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

平成24年3月7日

環境大臣 細野 豪志 殿

ダイキン工業株式会社
代表取締役会長兼CEO

井上 礼之

ダイキングループは、空調機器とその冷媒であるフルオロカーボンを開発・生産する世界唯一のメーカーとして、地球温暖化防止への取り組みを最重要課題と捉え、環境対策でも世界トップレベルを目指し、以下の取り組みを進めてまいります。

1. 事業活動に伴う温室効果ガスの排出削減を推進します。

- 生産時の温室効果ガス（CO₂、HFC、PFC）のグループ総排出量（国外分も含む）を、2015年度までにCO₂換算で、2005年度比で1/3にすることを目指します。国内外の工場において、フロン類の回収、除去などオフガス対策をさらに進めることで、排出削減を図ります。

2. 地球温暖化防止に貢献する商品の開発及び普及を推進します。

- 消費電力削減効果の高いインバータ商品の全世界への普及を促進します。
 - 中国での家庭用空調機市場においてインバータ機の投入を加速し、2015年度には50%の普及につながるよう活動を推進します。
 - 大型空調機市場においても、高効率空冷ヒートポンプチラーや大容量ターボ冷凍機などのインバータ搭載高効率機を展開します。
- 既存の燃焼式よりもエネルギー効率の高いヒートポンプ式暖房・給湯商品を、各地域の特性に合わせて開発、普及させます。
- 自然冷媒（CO₂）給湯機、コンビニ用空調・冷蔵・冷凍一体システムなどのヒートポンプ商品の普及を促進します。
- 空調設備遠隔監視システムの活用による省エネソリューション事業をグローバルに展開します。
- 太陽電池など再生可能エネルギー利用機器に使用されるフィルム材料や建造物に塗布し空調電力の省エネに寄与する遮熱塗料などフッ素化学製品の普及を促進します。
- 環境性能、安全性、効率をトータルに考えて、温暖化係数がこれまでの1/3である冷媒HFC32を使用した空調機をグローバルに展開します。

3. 冷媒回収・破壊の推進により、生産時から廃棄時に至るまで冷媒漏洩を極小化します。

- 国内のお客様からの依頼によるフルオロカーボン回収を24時間・365日体制で受け付け、破壊処理施設で確実に処理します。
- 冷媒フロン類の使用時の排出対策を強化するため、業務用空調機について使用機器の把握、漏洩未然防止のための点検、冷媒補充の履歴管理等を進めます。

4. 化学物質の管理を徹底し、排出量を削減します。

- 日本国内におけるPRTR対象物質は、回収の能力向上や対象物質を使用しない工程を採用することで、一層の排出削減に努めます。
- 国内でフッ素化学製品の製造等に使用していたPFOA（パーフルオロオクタン酸）を、2012年度までに全廃します。

5. 地球の未来を担う子どもたちに、持続可能な社会を考える手がかかりとなる学びの場を提供します。

- 持続可能な社会を考える環境教育プログラムを作成し、全国の小学校に無償で提供します。
- 工場見学や営業イベント、WEBサイトなどさまざまな場面で、子どもたちが持続可能な社会を考える学びの場を提供します。

ダイキングループは、上記取り組みの進捗状況を確認し、その結果について環境省への報告及びCSR報告書による公表を行います。